



Asian Productivity Organization “The APO in the News”

Name of publication: Sangyo Shimbun (9 September 2014, Japan)

Page no.: 4

APO アジア太平洋視察団来日

上下水道先進事例学ぶ

JFEエンジがプレゼン

アジア生産性機構（APO）は、日本政府からの協賛金によって、アジア太平洋地域14カ国・地区の上下水道事業にかかわる政府・経済界の高官や専門家を招聘し、日本水道協会および日本下水道協会の協力を得て、9月1～5日の日程で本視察団を率えて、上下水道先進事例について、視察団事業を実施した。

視察団は上下水道事業に携わる専門家の講演を聴き、さらに東京都と神戸市の水処理施設視察を視察し、水処理や下水道システムにかかわる日本の先進事例を学んだ。また「国際フロンティア事業メッセ2014」にも参加し、1日午後には、APO本部で上下水道事業にかかわる企業によるプレゼンテーションが行われ、国内5社（JFEエンジ、アクリンク、八千代エンジニアリング、メタウオータ、日野機械、石垣）がそれぞれ実施した。

この中で、JFEエンジは、アクアソリューション本部海外事業課管理課の黒岩綾子・課長代理が「マリーナベイサンズスカイパークプロジェクト（シンガポール）」など、JFEエンジが手掛けた代表的な施工事例を挙げながら、同社の事業を説明した。また、愛州テクノソリューション本課で手掛ける水処理設備を紹介。参加者から質問応答が行われた。

APOには20の国・地域が加盟し、研修やワークショップ、セミナーなど能力開発の取り組みによって、加盟国の生産性向上を支援している。

APOは生産性向上を促進して、アジア太平洋地域の持続可能な社会経済の発展に貢献することを使命とし、1961年政府間協定の締結によって設立された国際機関。現在、APO

プレゼンテーションを行う黒岩JFEエンジニアリング代表と来日した参加者



(日刊産業新聞 2014年9月9日4面)